

人も地球も健康に  
**Yakult**



**60**<sup>th</sup>  
Anniversary

特集

# ヤクルトレディ 誕生60周年



## 株式会社ヤクルト本社

第72期  
中間期 **株主通信**

2023年4月1日 ~ 2023年9月30日

### 掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 06 ヤクルトのネットワーク
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集 ヤクルトレディ誕生60周年
- 11 コラム ヤクルトのESG活動に国際的評価機関も注目!
- 13 会社情報

## ごあいさつ



代表取締役社長

成田 裕

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申し上げます。

ここに、2023年4月1日から2023年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

2023年12月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

## 当第2四半期について

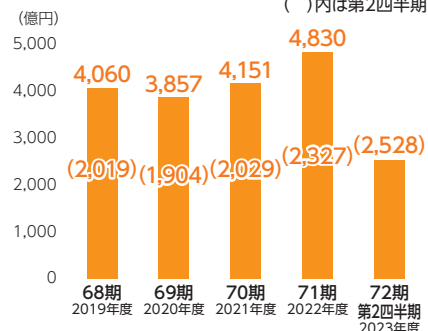
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しているものの、世界的な金融引締め、中国経済の先行き懸念等による景気の下振れリスクや、物価上昇等による影響に十分注意を要する状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」に立脚し、世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーを目指し、企業活動を推進し、業績の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は2,528億円(前年同期比8.6%増)となりました。利益面においては、営業利益は353億円(前年同期比0.0%増)、経常利益は422億円(前年同期比0.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は260億円(前年同期比3.1%減)となりました。

### 連結業績ハイライト

#### ●売上高



### 配当について

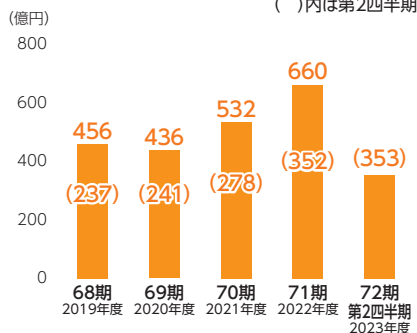
当社は、継続的な増配を目指すことを最優先とし、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績などを総合的に勘案して配当金額を決定しています。

上記の方針のもと、2024年3月期の中間配当額は、株主の皆さまに対してより一層の利益還元を図るため、前期と比べて1株あたり10円増配の55円としました。

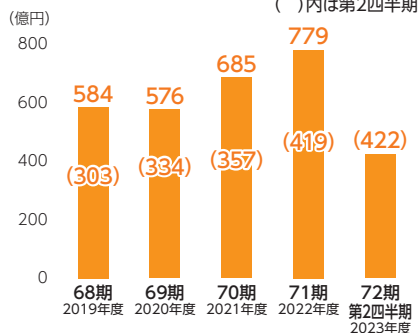
また、2024年3月期の期末配当金については、1株あたり28円を予定しています。当社は2023年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っており、株式分割前換算では1株あたり56円となります。実質的には前期に比べて1株あたり11円の増配となる予定です。

	当第2四半期連結累計期間	通期の見通し
売上高	<b>2,528</b> 億円 (前年同期比 <b>8.6%</b> 増)	<b>5,130</b> 億円 (前期比 <b>6.2%</b> 増)
営業利益	<b>353</b> 億円 (前年同期比 <b>0.0%</b> 増)	<b>670</b> 億円 (前期比 <b>1.4%</b> 増)
経常利益	<b>422</b> 億円 (前年同期比 <b>0.6%</b> 増)	<b>805</b> 億円 (前期比 <b>3.2%</b> 増)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	<b>260</b> 億円 (前年同期比 <b>3.1%</b> 減)	<b>520</b> 億円 (前期比 <b>2.7%</b> 増)

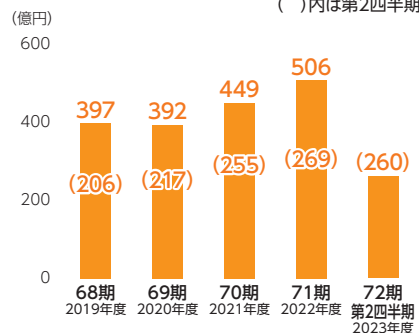
#### ● 営業利益



#### ● 経常利益



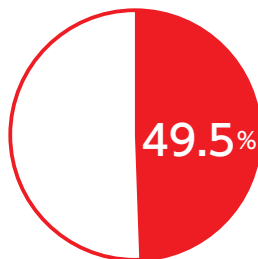
#### ● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# FINANCIAL RESULT BY SEGMENTS

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

## 飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高

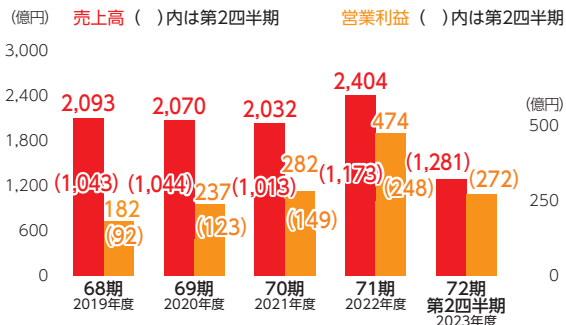
1,281 億円

(前年同期比: 9.2% ↑)

営業利益

272 億円

(前年同期比: 9.5% ↑)



乳製品につきましては、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、エビデンスを活用し、地域に根ざした「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料[Yakult(ヤクルト)1000]および「ヤクルト400W」を中心に、新規のお客さまづくりを実施するとともに、既存のお客さまへの継続飲用の促進を図りました。また、インターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」については、「Yakult(ヤクルト)1000」および「ヤクルト400W」の新規申し込みを8月から再開し、売り上げの増大に努めました。さらに、宅配組織の強化を図るため、ヤクルトレディの採用活動および働きやすい環境づくりを推進しました。

店頭チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Y1000」および「Newヤクルト」シリーズを中心に、プロモーションスタッフを活用し

たお客さまへの「価値普及」活動を展開するなど、売り上げの増大に努めました。

商品別では、「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」について、原材料費の上昇や社会情勢に起因する物流費等の急激な高騰を受け、9月に価格改定を行いました。また、「ヤクルト400W」については、風味を改良するとともに、パッケージデザインを変更し、9月にリニューアル発売しました。さらに、はっ酵乳「ミルミル」類については、パッケージデザインを変更し、9月にリニューアル発売しました。加えて、ハードタイプヨーグルト「ソファール」シリーズの「ソファール レモン」については、7月から通年販売を開始しました。

一方、清涼飲料につきましては、7月から「タフマンV」等を対象とした消費者キャンペーンを実施し、売り上げの増大に努めました。

NEWS &  
TOPICS

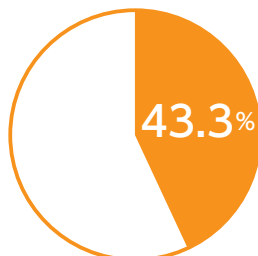
2023

### ■ ヤクルト独自のガラクトオリゴ糖を使用したペット向け商品を展開

当社は、株式会社ジャパンペットコミュニケーションズと資本業務提携契約を締結し、伴侶動物(ペット)向け商品「MediSuppli(メディサプリア)ガラクトオリゴ糖」および「MediSuppli+(メディサプリア プラス)」シリーズを2023年9月に発売しました。ヤクルトの独自素材であるガラクトオリゴ糖を使用した、腸内の健康をサポートしながらお悩みをケアする犬用サプリメントおやつです。当社では、コーポレートスローガン「人も地球も健康に」の実現に向け、人だけでなく、動物の健康維持・向上にも貢献していきたいと考えています。



## 飲料および食品製造販売事業部門(海外)

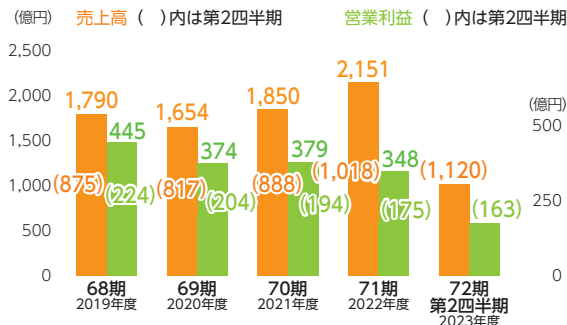


売上高構成比

## 当第2四半期連結累計期間

売上高  
1,120 億円  
(前年同期比: 10.1% ▲)

営業利益  
163 億円  
(前年同期比: 6.5% ▼)

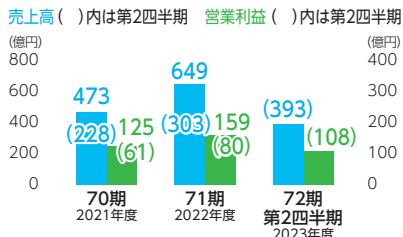


## 米州地域

売上高 393億円(前年同期比: 29.8% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で「ヤクルト」などを製造、販売しています。米国では、広報活動等による販売支援を強化するとともに、取引店舗数の増大に努めた結果、8月は一日当たり平均販売本数が過去最高となりました。また、米国において2番目となる新工場建設に向け、アメリカヤクルト株式会社、ジョージア州バートウ郡、同・カータースビル市共同経済開発局の3者で、生産工場候補用地取得に向けた覚書を7月に締結しました。

その他米州地域では、宅配・店頭の高まりを契機とした各国の市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。



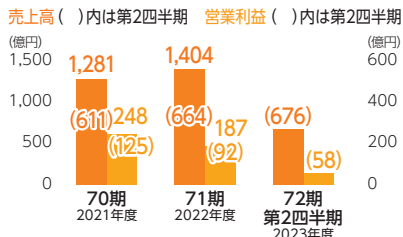
## アジア・オセアニア地域

売上高 676億円(前年同期比: 1.8% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

ベトナムでは、販売促進策を積極的に展開するとともに、宅配組織の拡充と取引店舗数の増大に努めた結果、7月は一日当たり平均販売本数が過去最高となりました。

中国では、広州ヤクルト株式会社により、広東省汕頭市に汕頭支店を設立し、同支店内の店頭チャンネルで「ヤクルト」「ヤクルトライト」および「ヤクルト500億ライト」の販売を9月から開始しました。これにより、中国の販売拠点は52か所となりました。



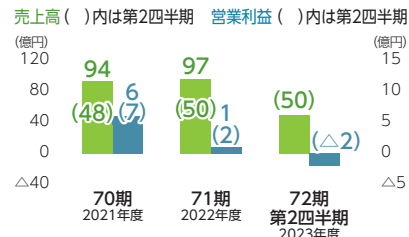
## ヨーロッパ地域

売上高 50億円(前年同期比: 1.2% ▲)

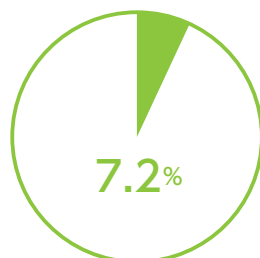
ヨーロッパ地域においては、「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

同地域では、健康志向の高まりを契機とした各国の市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。

一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化に伴い、当社は、両国内で事業展開をしていないものの、引き続きヨーロッパ地域全体への影響について注視していきます。



### その他事業部門



売上高構成比

#### 当第2四半期連結累計期間

売上高

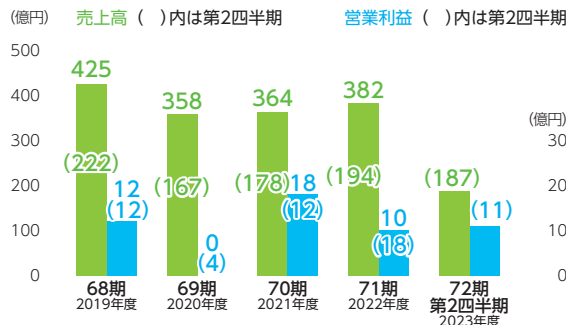
187 億円

(前年同期比：4.0% ↓)

営業利益

11 億円

(前年同期比：38.2% ↓)



その他事業部門には、化粧品の製造販売、医薬品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」活動に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と化粧品愛用者数の増大に努めました。

具体的には、基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズのブランド活性化策を実施し、ヤクルトレディを中心とした訪問販売によるお客さまへの継続愛用の促進を図りました。また、7月に、薬用歯みがき剤「ヤクルト 薬用アパコート S.E.〈ナノテクノロジー〉」のパッケージデザインを変更しリニューアル発売したほか、高保湿ボディケアシリーズ「コクルム」から、汗のベタつきを抑え、サラっとしたお肌に仕上げる「コクルム ボディパウダー」を発売しました。

医薬品につきましては、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品等の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、行政方針に沿って後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力を活かした活動を展開しました。

しかしながら、4月に実施された薬価改定において大半の当社製品の薬価が引き下げられたことにより、売り上げに影響を受けました。

プロ野球興行につきましては、神宮球場において各種ファンサービスの充実やさまざまな情報発信を行い、入場者数および売り上げの増大に努めました。

なお、当期から金額の重要性により医薬品製造販売事業部門はその他事業部門に含めています。グラフの数値はすべて組替後のものです。

## NEWS & TOPICS

2023

### ■ 「ヤクルト400W」をリニューアル発売

「ヤクルト400W」は、腸内環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されているWの成分（乳酸菌 シロタ株）と「ガラクトオリゴ糖」を含む機能性表示食品です。2023年9月、これらの機能が分かりやすいパッケージデザインに変更するとともに、これまでのすっきりとした風味を残しつつ、よりコクのある味わいが感じられる風味に改良しました。





現在、日本を含む40の国と地域で、  
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、  
世界中で毎日4,200万人を超える方々(2023年3月期実績)に  
ご愛飲いただいています。

### 【世界の販売本数】



海外：2023年1月～6月の1日当たり平均本数  
日本：2023年4月～9月の1日当たり平均本数

### EUROPE

▶国と地域：13   
▶1日当たりの販売本数：63万本

#### ヨーロッパ

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス
- デンマーク

### THE AMERICAS

▶国と地域：6   
▶1日当たりの販売本数：597万本 

#### 米州

- ブラジル
- アメリカ
- メキシコ
- カナダ
- ウルグアイ
- ペリース

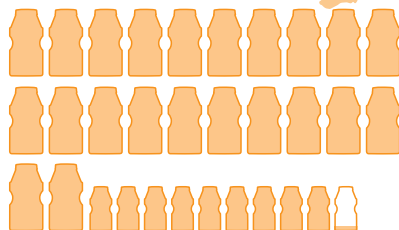
### JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：1,102万本



### ASIA AND OCEANIA アジア・オセアニア

▶国と地域：20  
▶1日当たりの販売本数：2,291万本



- 台湾
- マレーシア
- 香港
- ニュージーランド
- タイ
- ベトナム
- 韓国
- インド
- フィリピン
- アラブ首長国連邦
- シンガポール
- オマーン
- ブルネイ
- バーレーン
- インドネシア
- カタール
- オーストラリア
- クウェート
- 中国
- ミャンマー

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

## 第2四半期連結貸借対照表

単位：億円

科目	第71期 2023年3月31日現在	第72期第2四半期 2023年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,541	3,892
固定資産	3,952	4,267
有形固定資産	2,251	2,362
無形固定資産	55	58
投資その他の資産	1,645	1,846
資産合計	7,494	8,159
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,476	1,374
固定負債	562	614
負債合計	2,039	1,989
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,750	4,945
資本金	311	311
資本剰余金	415	419
利益剰余金	4,842	5,032
自己株式	△ 819	△ 818
その他の包括利益累計額	236	645
その他有価証券評価差額金	204	293
為替換算調整勘定	39	358
退職給付に係る調整累計額	△ 7	△ 6
非支配株主持分	468	578
純資産合計	5,454	6,170
負債・純資産合計	7,494	8,159

## 第2四半期連結損益計算書

単位：億円

科目	第71期第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第72期第2四半期累計 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	2,327	2,528
売上原価	914	1,023
売上総利益	1,413	1,505
販売費及び一般管理費	1,060	1,152
営業利益	352	353
営業外収益	74	90
受取利息	23	51
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	21	17
その他	18	10
営業外費用	7	21
支払利息	3	3
為替差損	—	13
その他	3	4
経常利益	419	422
特別利益	4	1
固定資産売却益	4	1
その他	0	—
特別損失	1	1
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	1
その他	0	0
税金等調整前四半期純利益	422	421
法人税等	129	133
四半期純利益	293	288
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	260



## 第72期第2四半期のポイント

## 1. 全体

増収、営業利益は前期並み

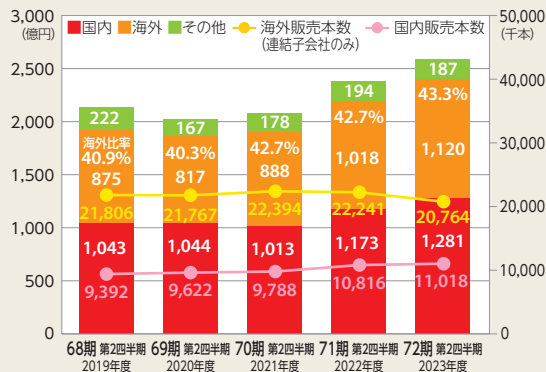
## 2. 国内飲料

Yakult1000(宅配)およびY1000(店頭)の  
販売本数増により増収、増益

## 3. 海外飲料

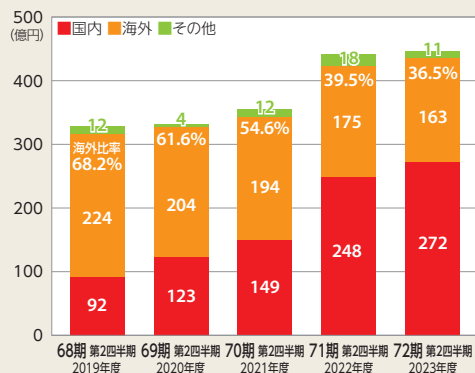
価格改定効果および為替の影響により増収も、  
中国等の販売本数減、原材料高騰および経費増に  
より減益

## ● 売上高推移および販売本数(連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

## ● 営業利益推移(連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	第71期第2四半期累計	第72期第2四半期累計
	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	323	213
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	10
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 280	△ 119
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175	333
現金及び現金同等物の期首残高	1,507	1,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,682	2,238

## キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が前年同期と比較し0.9億円減少の421億円となったことに加え、国内において仕入債務および法人税等の支払額の増加等により、前年同期と比較し110億円の減少となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは213億円となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較し固定資産の取得による支出が増加した一方で、定期預金(期間3か月超)が減少したこと等により、支出額が89億円減少しました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは10億円となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に自己株式の取得による支出があったこと等により支出額が161億円減少しました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△119億円となりました。

■ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

## ヤクルトレディ誕生60周年



2023年はヤクルトレディ誕生60周年の節目の年です。  
「女性の社会進出」の先駆けともなったヤクルトレディの歴史を紹介します。



### ヤクルトレディの誕生

ヤクルトレディは、一部の地域で**家庭の主婦を女性販売員として採用**したことから始まります。同じ地域で顔なじみの主婦が商品を直接お渡しするこの方法は、当時大好評で受け入れられました。

そして1963年に「**婦人販売店システム\***」という名称で**全国に導入**され、ヤクルトレディが誕生しました。お客さまに「ヤクルト」という商品を通じて**健康をお届けする**という仕事内容は今も昔も変わりありません。

※「婦人販売店システム」とは、「ヤクルト」をお届けする女性販売員（ヤクルトレディ）を組織化したことを指します。このヤクルトレディによるお届けは当時の女性の社会進出ともあいまって、お客さまだけでなく、世の中から歓迎されました。



### 制服の変遷



1963年頃



1976年頃



1989年頃



現在

「婦人販売店システム」が始まった1963年の夏服から、ヤクルトレディの制服が導入されました。その後も**2~3年ごとに機能面や素材の改良**を行うとともにファッション性も重視され、**著名なデザイナーを起用**したこともあります。近年では**ヤクルトレディ**や**本社女性社員の意向も採り入れたデザイン**となっています。



中国



マレーシア



タイ



シンガポール



インド



インドネシア



ベトナム



フィリピン



メキシコ



ブラジル

## 世界で活躍する ヤクルトレディ



現在、海外では  
約**5万人**の  
ヤクルトレディが  
活躍しているよ!



ヤクルトレディ誕生60周年

**記念企画を  
実施!**



お客さま感謝企画

ヤクルトレディとの思い出  
エピソード募集キャンペーン



ヤクルトグループでは、  
ヤクルトレディ60周年を記念して  
さまざまな施策を実施しています。

記念ロゴ



記念ユニフォーム



**60**<sup>th</sup>  
Anniversary



# ヤクルトの ESG 活動に国際的評価機関も注目!

ヤクルトグループのESG活動は、国際的評価機関からも注目されています。  
このコラムでは、ヤクルトを構成銘柄として採用したESG指数についてご紹介します。

## ● 国際的評価機関とは

国際的評価機関とは、投資判断に必要な指数や格付情報を提供している企業であり、具体的にはMSCI、FTSE Russell、S&P Global、Sustainalyticsなどがあります。

## ● ESG指数とは

ESG指数とは、企業が公開する非財務情報などをもとに、評価機関が企業のESGへの取り組みを評価して組み入れ銘柄を決める指数のことです。

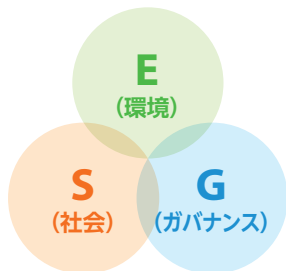
## GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) が採用する 6つの国内ESG指数のうち、5つに採用されています!

GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定されることは、企業の持続可能性や環境・社会・ガバナンスへの取り組みが高く評価されている目安になります。GPIFは国内最大の機関投資家であり、その**選定は市場における企業の信用・評価向上に繋がります。**



### GPIF採用ESG指数 (国内) 一覧

総合型指数		テーマ指数	
選定	FTSE Blossom Japan Index 10,305億円	選定	S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数シリーズ 16,434億円
選定	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 10,016億円	選定	MSCI 女性活躍指数 (WIN) 6,492億円
	MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数 20,562億円	選定	Morningstar ジェンダー・ダイバーシティ指数シリーズ (GenDi) 5,206億円



選定 **のマーク**がヤクルト本社が構成銘柄として採用されているESG指数です。

・海外株のみを対象としたESG指数は掲載していません。  
・金額は各指数に対するGPIFの運用額です。(2023年3月末現在)※外国株式を除く

## 女性活躍で注目のESG指数の構成銘柄に選定!

2023 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

2023年6月に米国の大手金融企業である**MSCI社**(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社)が開発したESG指数である「**MSCI日本株女性活躍指数(WIN)**」の構成銘柄に選定されました。

### 選定の基準

- 女性の役職就任比率
- 新規採用の女性比率
- 透明な情報開示 など

### 当社の状況

- 宅配ビジネスは多くの女性の力に支えられている
- 女性管理職数の増加 など

### ヤクルトレディ数

海外

**12カ国 50,192人**

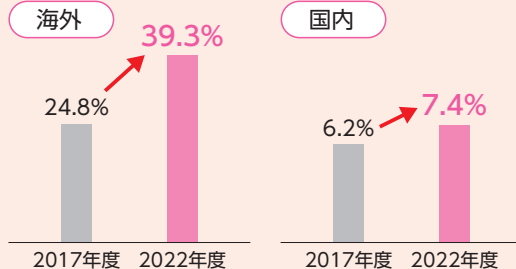
(2022年12月現在)

国内

**32,709人**

(2023年3月現在)

### 女性管理職比率の推移



経営への  
女性参加が増えると、  
ダイバーシティが進み、  
気候変動対応や技術面での  
イノベーションが起こりやす  
くなる、という研究データに  
機関投資家も注目して  
いるよ。



### [参考] GPIF採用ESG指数(国内)について



FTSE Blossom  
Japan Index

ESGに関する一定の評価基準を満たした日本企業の銘柄で構成された総合型ESG指数です。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

FTSE Blossom Japan Indexに含まれる銘柄を業種別に分類し、各業種内でESGスコアが高い銘柄を選定した指数です。



MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

各セクターにおける環境・社会・ガバナンス(ESG)評価の高い、ESGのリーダーシップを持つ日本企業を中心に選定した指数です。



MORNINGSTAR GenDi J

カーボンフットプリントを低減することを目的とした指数で、日本株式市場に上場している銘柄から選定された上位500銘柄で構成されています。

ジェンダー平等を重視する企業への投資を促進する設計となっている指数です。



## 会社概要

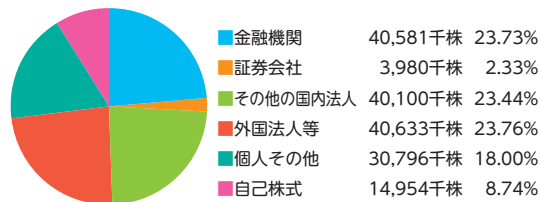
商号 株式会社ヤクルト本社  
(YAKULT HONSHA CO., LTD.)  
設立 1955年4月9日  
本店 東京都港区海岸1丁目10番30号  
電話 03(6625)8960(大代表)  
資本金 311億17百万円  
従業員 2,848人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者328人および嘱託162人を含んでいます。

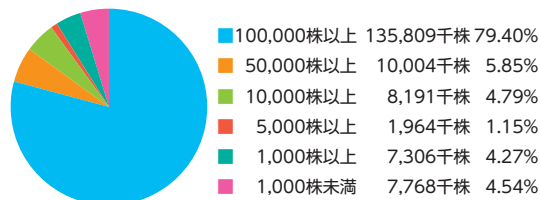
## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株  
発行済株式総数…………… 171,045,418株  
株主数…………… 59,807名

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



## 役員

代表取締役社長 成田 裕 社外取締役 安田 隆二 常勤監査役 山上 博資  
取締役 若林 宏 社外取締役 戸部 直子 常勤監査役 川名 秀幸  
取締役 土井 明文 社外取締役 新保 克芳 社外監査役 谷川 清十郎  
取締役 今田 正男 社外取締役 永沢 裕美子 社外監査役 手塚 仙夫  
取締役 平野 宏一 社外取締役 阿久津 聡 社外監査役 町田 恵美  
取締役 榑良 昌利 社外取締役 マシュー・ディグビー \*非常勤  
取締役 星子 秀章 取締役 内藤 学  
取締役 島田 淳一

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,121	11.76
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,808	3.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,799	2.22
松尚株式会社	3,417	2.00
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,758	1.61
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,134	1.25
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	1,764	1.03
日本生命保険相互会社	1,696	0.99

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。上表のほか、当社は自己株式14,954千株を保有しています。



## 株式分割

当社は、2023年9月30日を基準日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました(効力発生日は2023年10月1日)。なお、2023年9月30日現在でご所有の株式数を対象とした中間配当および株主優待(以下の②)は、株式分割前の株式数を基準に実施します。

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、サステナビリティなどさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

## 株主優待

毎年3月31日現在で100株以上ご所有の株主さま

### ① 当社商品詰め合わせを贈呈

- ※1,000株以上ご所有の株主さまは商品内容が異なります。
- ※ご所有期間3年以上の株主さまは「化粧品」を追加で贈呈します。
- ※商品発送は、6月上旬の予定です。

毎年9月30日現在で100株以上ご所有の株主さま

### ② 東京ヤクルトスワローズ

オフィシャルファンクラブ(スワローズクルー)に無料でご入会いただける権利をご提供

- ※ご所有株数によってご入会いただける会員種別が異なります。
- ※入会についてのご案内は、本誌と同封しております。
- ※2023年9月30日現在(株式分割前)でご所有の株式数を基準に実施します。

※優待内容は、毎年変わる可能性がありますのでご注意ください。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主総会	定時株主総会 毎年6月中 臨時株主総会 必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社  
事務取扱場所 〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地  
(NMF 竹橋ビル6F)

(郵便物送付先)  
(連絡先) 〒168-8522  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
☎ 0120-49-7009

## 株式に関する手続きについて

- 未支配配当金のお支払い  
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など  
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



# Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区海岸1丁目10番30号

TEL : 03-6625-8960(大代表) <https://www.yakult.co.jp/>